

 小笠原海運株式会社

ご予約・お問い合わせ TEL.03-3451-5171(代)

貨物のお問い合わせ TEL.03-3455-0461

本 社 〒108-0023 東京都港区芝浦3-7-9 サニープレイス田町ビル8階
父島営業所 〒100-2101 東京都小笠原村父島東町 TEL.04998-2-2111

www.ogasawarakaiun.co.jp

くわしくは [おがさわら海運](#)

東京竹芝～
小笠原諸島父島航路

新 おがさわら丸

船内のご案内

大きく、速く、快適に!!

新おがさわら丸
2016年7月2日就航

就航航路 / 東京～小笠原諸島父島 (距離約1,000km)
総トン数 / 11,035トン
全 長 / 150メートル
全 幅 / 20.4メートル
旅客定員 / 894名(170名 個室定員)
航海速力 / 23.8ノット

 小笠原海運株式会社

新 おがさわら丸の特徴

高速化

高速化により、前船の片道25時間30分から約24時間への運航時間短縮が実現しました。この運航時間短縮のメリットを生かし、お客様が利用しやすい発着時間を設定しております。運航時刻は次のとおりです。

東京 11:00発 → 父島 翌日 11:00着
(前船…東京 10:00発 → 父島 翌日 11:30着)

父島 15:30発 → 東京 翌日 15:30着
(前船…父島 14:00発 → 東京 翌日 15:30着)

東京発を11:00発とすることにより、東京竹芝までお越しの際の、朝のラッシュアワーを避けることができるようになりました。

また今まで朝一番の鉄道や航空便で間に合わず、前日から東京泊をしなければならなかった多くの遠隔地のお客様にも間に合うようになり、利便性が大きく向上します。

さらに、父島発を15:30発とすることにより、小笠原諸島での滞在時間が長くなり、各種ガイドツアーやお買い物などお楽しみいただくことができ、ユネスコ世界自然遺産 小笠原諸島をより一層満喫することができるようになります。

同日出発の可能なエリアが大幅に増えました!



新おがさわら丸

旧おがさわら丸

個室・寝台の増加 プライベート空間の充実

ユネスコ世界遺産登録(2011年6月)後の旅客数増大に対応し、旅客定員を増やしました。また、個室需要の声にも対応し、個室数も増えています。1等以上の個室は原則として他のお客様と相部屋にはなりません。また前船の特2等寝台に加え、新たに2等寝台を新設しております。

2等個室は頭部に間仕切りを設け、横たわった際に快適に過ごせるようになりました。



大きく、速く、快適に!!

新 おがさわら丸がリニューアルしました

東京竹芝～小笠原諸島父島航路



予約システムの向上

インターネット上で予約ができるようになりました。*予約の際、お客様全員の名前・年齢・性別・住所を登録していただきます。乗船時はQRコード管理となり、乗船名簿の記入は不要! 手続きが簡単、スムーズになりました。

※レディースルームは事前予約制となります

省エネ化

大型・高速化をはかりつつも、船首部の垂直ステムや省エネ船型・高性能プロペラの採用等により、前船と同等の燃費性能を実現します(主機関出力は前船と同一)。

バリアフリーの充実

搭乗フロアから上層フロアへのエレベーター設置、介護室の設置等、バリアフリーの充実をさせております。

船内施設の充実

売店はオリジナル商品、レストランは新メニューを増加します。また、映画・動画放映が充実します。

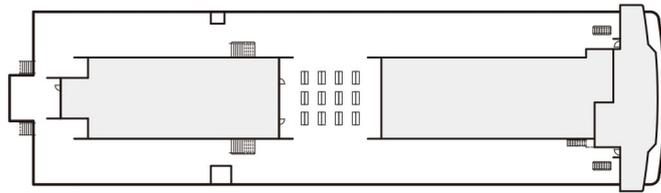
貨物搭載量UP!

貨物搭載量を増やし、より円滑な貨物輸送を実現します。

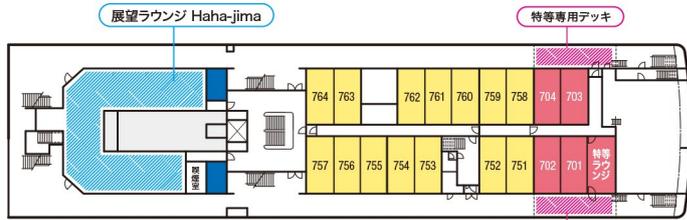
船内図

- 特等室・スイート
- 特1等室・デラックス
- 1等室・スタンダード
- 特2等寝台・プレミアムベッド
- 2等寝台・エコノミーベッド
- 2等和室・エコノミー
- シャワールーム
- トイレ・洗面所

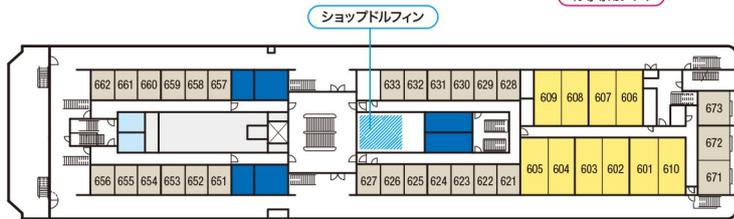
8デッキ



7デッキ



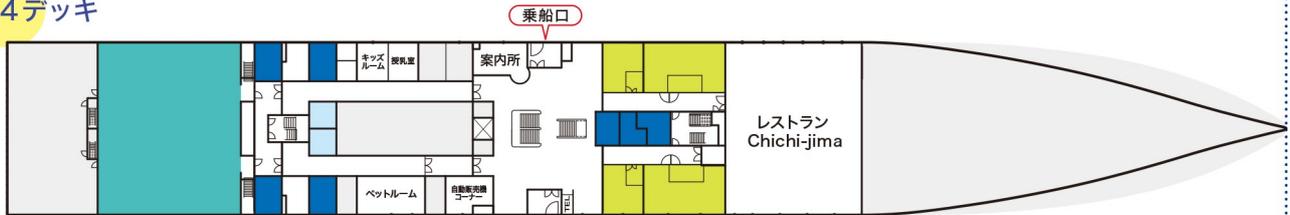
6デッキ



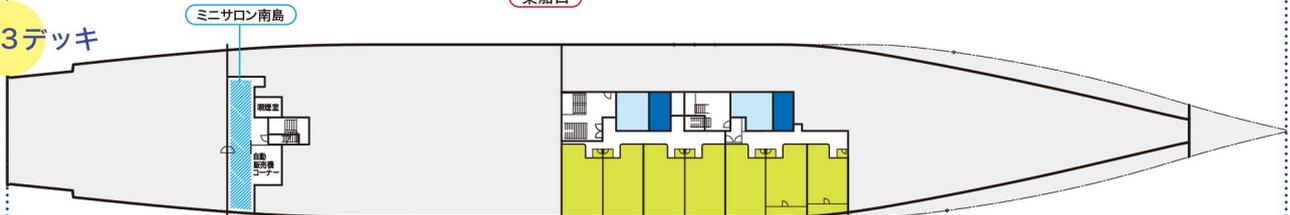
5デッキ



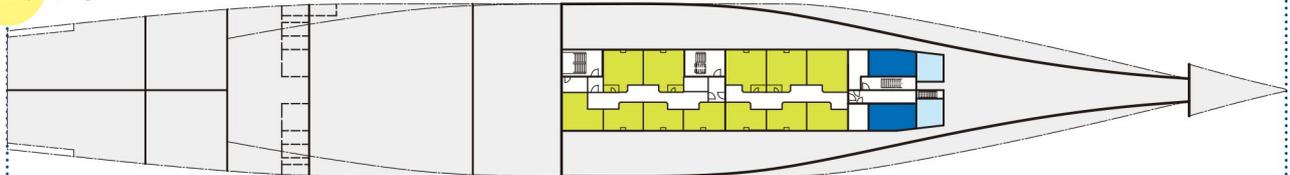
4デッキ



3デッキ



2デッキ



船内施設1 〈船室〉

※運賃は1名片道・税込、子ども料金は大人の半額になります。 ※別途燃料調整金を加減します。当社ホームページ等でご確認下さい。 ※特等室・特1等室・1等室を1名でご利用の場合、別途個室貸切料金をいただきます。

特等室 (スイート)

| | | |
|------------------------|---------|---------|
| 運賃 | 通常期 / | ¥69,170 |
| | 7月・8月 / | ¥76,920 |
| 1名利用時個室貸切料金 / +¥18,000 | | |

定員2名 (全4部屋)

- キングサイズベッド 1台
- バス、トイレ、テレビ、冷蔵庫、空気清浄機
- 専用ラウンジ(無料でご利用いただけます)
マッサージチェアー、ドリンクサーバー、
水素水サーバー
- 専用デッキ



特2等寝台 (プレミアムベッド)

| | | |
|----|---------|---------|
| 運賃 | 通常期 / | ¥35,100 |
| | 7月・8月 / | ¥39,030 |

全178床 (約10名用の部屋)

- 上下2段ベッド
- テレビ、コンセント付
- 対面する上段・下段別にベッド前通路を設置しています。ベッド前通路にカーテンを設置しています。お二人でご利用の場合、お客様のプライバシーが向上します。
- レディースルームをご用意しています。



特1等室 (デラックス)

| | | |
|---------------------------|---------|---------|
| 運賃 | 通常期 / | ¥62,670 |
| | 7月・8月 / | ¥69,690 |
| 1名利用時個室貸切料金 / +¥18,000 | | |
| 3名利用時は3人目の乗船料から ¥15,000引き | | |

定員3名 (全24部屋)

- シングルサイズベッド 2台
- ソファベッド 1台
- バス、トイレ、テレビ、冷蔵庫、空気清浄機



2等寝台 (エコノミーベッド)

| | | |
|----|---------|---------|
| 運賃 | 通常期 / | ¥26,450 |
| | 7月・8月 / | ¥29,410 |

全260床 (約20名用、または約160名用の部屋)

- 上下二段ベッド
- コンセント付
- レディースルームをご用意しています。



1等室 (スタンダード)

| | | |
|-----------------------|---------|---------|
| 運賃 | 通常期 / | ¥48,600 |
| | 7月・8月 / | ¥54,040 |
| 1名利用時個室貸切料金 / +¥6,000 | | |

定員2名 (全39部屋)

- シングルサイズベッド 2台
- テレビ



2等和室 (エコノミー)

| | | |
|----|---------|---------|
| 運賃 | 通常期 / | ¥23,210 |
| | 7月・8月 / | ¥25,820 |

全286床 (カーペット敷きの広間)

- 敷マットレス
- 上掛け、枕付
- レディースルーム・ファミリールームをご用意しています。



※画像はイメージです。



1 エントランス

4デッキの乗船口です。ここから小笠原諸島への24時間の船旅が始まります。

2 船内案内所

4デッキにあります。お気軽にご相談ください。

3 展望ラウンジ Haha-jima

7デッキにあります。76席、軽食・喫茶の営業もあります。船窓からは小笠原航路ならではのパノラマがご覧いただけます。

4 レストラン Chichi-jima

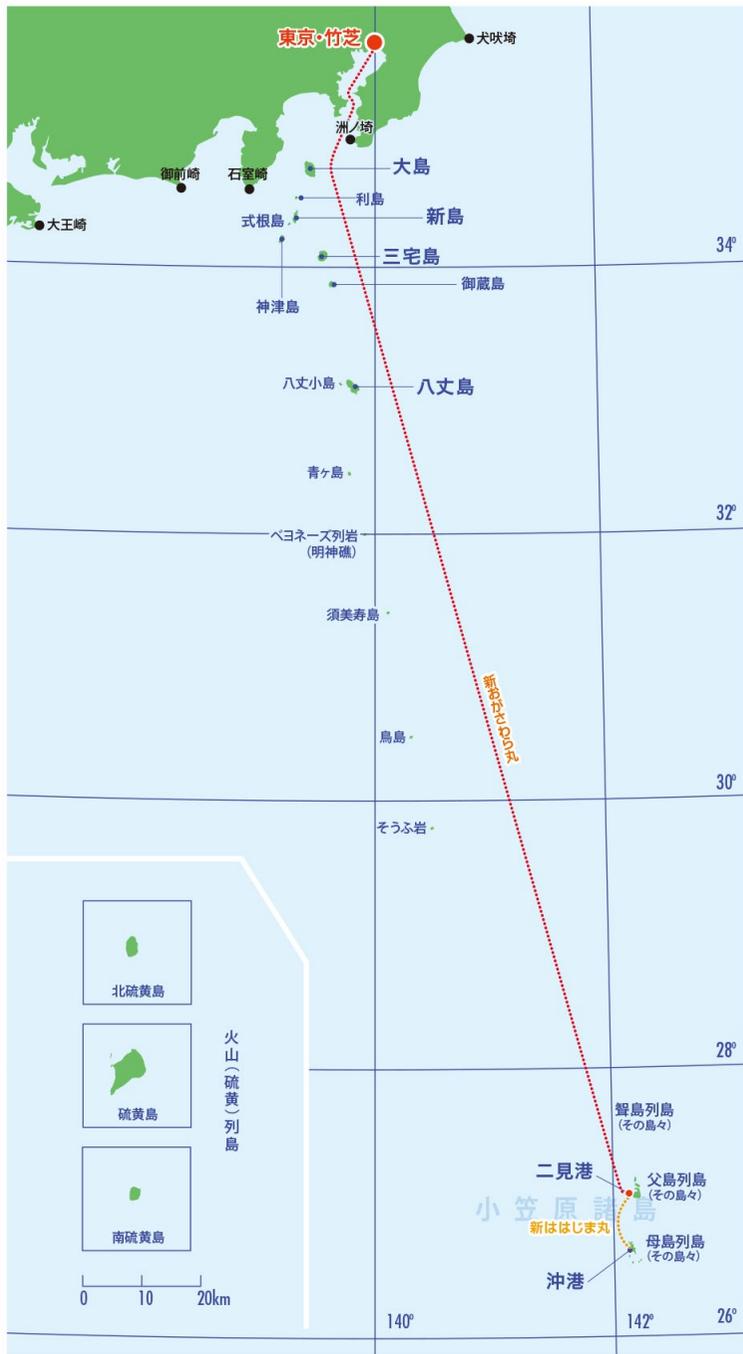
4デッキにあります。134席です。豊富なメニューを取り揃え、お客様のお越しをお待ち申し上げます。

5 貴重品ロッカー

4デッキにあります。指紋認証でロックしますので、鍵はありません。

その他の施設 ●ミニサロン南島
●ショップドルフィン
●キッズルーム
●授乳室 など

※画像はイメージです。



小笠原航路 むかしむかし

～小笠原航路の船たち～

小笠原諸島は1968年に米国から返還されました。弊社小笠原海運株式会社は1969年に創業し、1972年より定期運航を開始しました。当時の使用船舶は椿丸(1,016トン)で、東海汽船株式会社から定期備船したものでした。東京・父島間を44時間かけて航行し、この年は50往復しています。翌1973年に関西汽船の浮島丸を購入、父島丸(2,616トン)と改称し就航させました。東京・父島間の所要時間は38時間となりました。

父島丸を約6年使用し、1979年にいよいよ小笠原諸島航路専用の新造船として初代おがさわら丸(3,553トン)が就航しました。東京・父島間の所要時間は28時間となり、大幅に短縮されました。年間の航海数は60往復程度で、今日の航海数の基礎となっています。初代おがさわら丸は、航海時間短縮

のために必要な航海速度20.7ノットを確保する強力な主機関のほか、海況不良時の耐航性を確保するためフィンスタビライザー(横揺れ防止装置)を装備しました。旅客定員、貨物搭載量も増加した当時としては革新的な船で、以降約18年間にわたり就航しました。

そして1997年、二代目おがさわら丸(6,700トン)が就航、東京・父島間を所要時間25時間30分で結びました。二代目おがさわら丸は就航19年3ヶ月、東京・父島間を約1,200往復、距離にして約240万kmを走りました。これは地球60周に匹敵します。

2016年7月に就航の三代目おがさわら丸は11,035トンで二代目の1.6倍の大きさ、離島航路最大の定期船です。定期航路開設当初の椿丸を思うと、隔世の感があります。

1 椿丸

(1,016トン)
1972年 4月～

就役約1年
所要時間 約44時間



2 父島丸

(2,616トン)
1973年 4月～

就役約6年
所要時間 約38時間



3 初代おがさわら丸

(3,553トン)
1979年 4月～

就役約18年
所要時間 約28時間



4 二代目おがさわら丸

(6,700トン)
1997年 3月～

就役約19年
所要時間 約25.5時間



5 三代目おがさわら丸

(11,035トン)
2016年 7月～

所要時間 約24時間



※画像はイメージです。